



表彰授与式と祝賀会を開催 平成23年度(一財)稚内市体育協会表彰

体育の日が6年ぶりに10月10日となったこの日、稚内海員会館を会場に恒例の体育協会表彰式並びに祝賀会が挙行されました。

式典には、工藤稚内市長を始め多くの来賓を含む、およそ170人の関係者が集い、長年にわたり本市体育・スポーツの普及・発展に尽力された仲間への受賞を喜び讃えました。

今号では、長年スポーツ少年団の育成に尽力された指導者の方々を、この日表彰された皆さんとともにご紹介いたします。

功労賞

▽体育・スポーツの普及・発展に特に貢献した個人

- 高野 徳七 さん(卓球協会)
- 塚越 英明 さん(水泳協会)
- 佐々木 正巳 さん(居合道協会)
- 青坂 禮一 さん()
- 柏谷 仁 さん(ボート協会)

功績賞

▽体育・スポーツの普及・発展に寄与した個人

- 須藤 雅彦 さん(卓球協会)
- 鎌仲 秀晴 さん(ボート協会)
- 櫻庭 禮子 さん(パークゴルフ協会)
- 寺嶋 綾子 さん()
- 岡谷 美喜代 さん()

有功賞

▽優秀な成績を収めた、競技団体又は個人

- 新山 風沙 さん(スキー協会)
- 南中学校サッカー部(サッカー協会)

スポーツ少年団 本部長表彰

20年指導者

- 柴田 芳久 さん(剣道)
- 関口 勝昭 さん(スキー)

15年指導者

- 平塚 貴宏 さん(剣道)
- 牧野 孝敏 さん(卓球)



スポーツ少年団だより

平成23年度 スポーツ少年団・学校交流会 「テーマはスポーツと学校」

スポーツ少年団活動と学校生活の連携を深める目的で毎年開催しています。

指導者・育成者・教員の立場からの事例発表に対する研究協議と、同時期に開催する「普及事業：バレーボール講習会」の講師に招聘した大山加奈さん(元日本代表)の講話を予定し、研究協議・講話終了後は、希望者による情報交換会(懇親会)を開催します。

スポーツ少年団員の父母、指導者、学校関係者の出席をお待ちしています。

記

- 日 時：平成24年1月28日(土) 午後5時
- 会 場：稚内全日空ホテル(2階：鳳の間)
- ※ 研究協議の参加費は無料
- ※ 情報交換会参加の方はお一人3,000円

一 口 ム モ

●ラグビーがオリンピック種目に無いのは何故?

世界各国で盛んに行われているラグビーが、オリンピックの正式種目に採用されないのは、激しいスポーツのため連戦が無理なので、期間内に消化しきれないと言う事情がありますが、もう一つの理由は「あえてチャンピオンを作らないのがラグビー精神だから」、試合終了をゲームセットと言わず、ノーサイド(敵味方無し)というラグビーが、紳士のスポーツと言われる所以(ゆえん)だそうです。《愛netコミュニティ雑学集から引用》

バスケットボール協会の阿部さん 難関のAA(ツーエー)級審判 道内唯一の資格をゲット!!!



稚内バスケットボール協会所属の阿部 聖(36歳：稚内消防署警防第1課勤務)さんが、この度、日本バスケットボール協会公認AA(ツーエー)級の審判資格を取得しました。

道内ではただ1人の資格取得となる快挙で、バスケットボール仲間をはじめ関係者から祝福されると同時に、今後の活躍が期待されています。

阿部さんは、潮見が丘中学校から稚内商工高校に進み、バスケットボールの選手として活躍していましたが、卒業後もクラブチーム(アルピナ)で選手としてプレーしながら、審判としても研鑽(けんさん)を重ねていました。

8年前にB級資格を取得していましたが、昨年はA級を取得すると同時にAA級挑戦に意欲を傾け、今年(11月9日発表)見事に合格を果たしました。

日本バスケットボール協会(東京)による3度にわたる研修の中では、ペーパーテスト(ルールーおよび英会話)と実業団や大学のリーグ戦での実地試験などの超難関をクリアし、全国から挑戦した38人のうち7人が合格と言う狭き門を突破しています。

今後は、本市馴染みのレバンガ北海道が所属するバスケットボール日本リーグをはじめ全国レベルの大舞台を仕切る阿部審判の勇姿が見られそうです。

●阿部 聖さんのコメント

AA級審判は、プレーヤーとしては立つことができなかった全国レベルのステージに立てることが最大の魅力です。これも職場をはじめ協会の皆さん、そして何よりも家族の理解と協力のお陰で夢の一部が叶い、心から感謝しています。



①宗谷スポーツセミナー(稚内会場)コンディショニング&コアトレーニング【10月16日(日)総合体育館】

②スポーツリーダー(兼)スポーツ少年団指導者認定養成【11月5・6(土・日)総合体育館】

③スポーツ少年団SHIPS交流大会【10月10日(月：体育の日)総合体育館】

④スポーツ少年団Jリーグスクール(道北会場)【10月8・9日(土・日)少年自然の家】

われらスポーツ家族の輪



家族でスポーツに取り組み、楽しんでるスポーツ家族の輪をつないでまいります。

今号では、前号の「蛭子憲治」さんから紹介のあった「佐藤郁男さん一家」です。

(敬称略)
お 藤 郁 男 さん一家
さ とう いく お
18 佐 藤 郁 男 さん一家

■郁男(いくお)
小学校四年生から野球を始め、少年団のころに俊足を生かしチームの中心選手として全道三位に導き、野球一筋の人生を歩み野球少年そのままに現在も職場(消防署)の仲間と野球を楽しんでいます。

■妻・美恵(みえ)
これまでは、運動部に所属することなく勉学に励んでおりましたが、十年前からミニバレーを始め週三回の練習と年に何度か大会に出場して楽しんでいきます。

■長女・絢菜(あやな)
南小学校六年生。今年からウイングミニバスケットボール少年団に所属して、早くもチームの中心選手として来年一月に道央で行われる大会に向けて、頑張っています。

■次女・優奈(ゆうな)
南小学校三年生。昨年からジュニアスポーツスクールに通い、色々なスポーツを楽しんでいます。最近姉の影響でバスケットボールが一番好きなスポーツです。

■三女・虹海(ななみ)
幼稚園児。水夢館にお父さんと行くことが一番の楽しみで、早くプールを一周泳げるようになりたいです。

■郁男さんからのコメント
職業柄、市民の命を守ることを第一に考え、子どもたち三人がスポーツを通して心身ともに成長していく姿が楽しみのひとつです。